

4A基礎講座(全99回)

4A論文解法パターン講義(全64回)

◎憲法	6回	◎商法	9回	◎行政法	6回
◎民法	16回	◎民事訴訟法	8回		
◎刑法	12回	◎刑事訴訟法	7回		

出題の可能性がある全パターンの論文式問題を、たった1つの方法論「4A」により考えながら解くことで網羅しつつ、知識の使い方を体得する講義です。講義1回当たり、3問前後の予備試験・法科大学院入試の論文式過去問を解きます。

予習としては、少なくとも最初のうちは、次回の講義で扱う問題の問題文を読んでくれるだけで充分です。どのように問題文を読み→条文を探して使いこなす→論文答案にしていくなのか、**法的知識ゼロの方にも分かるように講義します**。法的知識をある程度お持ちでも、実際に「4A」を使って問題を解く中で、法的知識の誤解に気づいたり、疑問が氷解したという方が多いです。

4A条解講義(全35回)

◎憲法	4回	◎商法	7回	◎行政法	3回
◎民法	9回	◎民事訴訟法	4回		
◎刑法	4回	◎刑事訴訟法	4回		

本試験の徹底的な分析により厳選した、**合格のために必要充分かつ即戦力で使える知識を、論文式試験はもちろん、短答式試験対策にもなるよう、短期間で集中的に、条文単位のテキストで網羅的にInput**していきます(そのメリットとは?→P14のQ&Aの2と3をご覧ください)。各科目ごとに、4A論文解法パターン講義→4A条解講義の順で受講すれば、論文式問題を解くための知識の使い方を念頭に置き、目的意識を持って効果的に知識をInputすることができます。

4A実践答練(全23回)

基礎答練(全20回)

◎憲法	3回	◎商法	3回	◎行政法	2回
◎民法	5回	◎民事訴訟法	2回		
◎刑法	3回	◎刑事訴訟法	2回		

応用答練(全3回)

◎公法系	1回	◎民事系	1回	◎刑事系	1回
------	----	------	----	------	----

4A基礎講座で、論文式問題における「4A」の使い方を体得し、かつ、本試験合格に必要な十分な知識を網羅したとしても、**初めて見る論文式問題に直面して、「4A」を実践し、実際に答案まで書けるのか、試す必要**があります。

その直後、4Aを使ってどのように論文式問題を読み、解き、答案を書くべきだったのかを中村講師が解説する講義を受け、**4Aを使いこなせたかチェック**してください。

その上で、丁寧な答案添削・採点を受けることで、**採点者の着眼点(絶対的な合格ライン)と今後の勉強の方向性**が分かります。しかし、試験における真の“敵”は、採点者ではなく他の受験生ですから、他の受講生が実際に書いた答案や、中村講師による講評(受講生全体の出来から算出した相対的な合格ライン、受講生に多かったミスの傾向と対策等の紙上講義)も読んでいただくことで、**相対的な合格ラインを見極める力**も鍛えます。